

策定プロセス訪問調査事例

秋田県皆瀬村

皆瀬村母子保健計画策定スケジュール

- | | | | |
|-----|-----|----|----------------------------------|
| 8. | 9. | 17 | 策定スケジュール作成、アンケート原案作成 |
| 8. | 9. | 18 | 課内会議、策定委員の選定 |
| 8. | 9. | 19 | 村長、助役へ趣旨説明 |
| 8. | 9. | 20 | 乳幼児教室参加者の意見を聞く
「すくすくプランの会第1回」 |
| 8. | 9. | 24 | 「同 第2回」 |
| 8. | 9. | 30 | アンケート完成・対象者へ発送（郵送） |
| 8. | 10. | 1 | 職員会議で各課へ協力依頼 |
| 8. | 10. | 1 | 高齢者サービス調整チームで計画策定の主旨説明 |
| 8. | 10. | 8 | 民生児童委員定例会で主旨説明 |
| 8. | 10. | 11 | アンケート回収・集計作業開始 |
| 8. | 10. | 15 | 第1回湯沢保健所と打ち合わせ |
| 8. | 10. | 16 | 策定委員会会議準備・通知発送 |
| 8. | 10. | 29 | 第1回策定委員会 |
| 8. | 11. | 5 | 母子保健計画（案）作成作業開始 |
| 8. | 11. | 29 | 第2回策定委員会実施 |
| 9. | 1. | 28 | 母子保健計画作成作業開始 |
| 9. | 2. | 28 | 母子保健計画完成 |
| 9. | 3. | 5 | 県へ提出 |
| 10. | 4. | 1 | 母子保健計画ダイジェスト版作成開始 |

策定にとりかかるまで

- H6. 12. 22 湯沢保健所より湯沢市雄勝郡内の保健婦に対して地域保健
・権限移譲について説明がある
- H7. 1月～2月 第1回地域保健に関する市町村保健衛生（主管）課長会議
H7. 7. 17 第2回地域保健に関する市町村保健衛生（主管）課長会議
- H8. 2. 6 湯沢保健所と村担当で平成8年度母子保健事業の協力・
支援と今後の課題について会議を持つ
- H8. 5. 31 第34回秋田県小児保健会総会で「移譲業務と質的サービ
スについて」講演がある
- H8 6. 13 県より平成8年6月13日衛-476・母子保健計画策定
について通知が届く
- H8. 7. 11 保健婦2名で岐阜県谷汲村、本巣町へ視察研修に行く。岐
阜県の母子保健計画策定の進行状況について研修する
- H8. 8. 9 第3回地域保健に関する市町村保健衛生（主管）課長会議
「母子保健計画策定の進行状況の説明」がある
- H8. 8. 27 北海道・東北ブロック母子保健指導者研修会で「移譲業務
母子保健計画の策定等について」行政説明がある
- H8. 9. 17 保健指導係で母子保健計画策定にとりかかる
- H8. 10. 22 市町村総務主管部（課）長会議に総務課長が出席し「母子
保健計画策定に係わる資料」が届く
- H8. 11. 28 湯沢保健所の市町村に対する「業務移譲研修会」に出席

皆瀬村母子保健計画策定委員名簿

1.	湯沢保健所	課長補佐	鈴木純子
2.	雄勝福祉事務所	家庭相談員	高橋直子
3.	西村助産婦	助産婦	西村若子
4.	養護教諭	小安小	佐藤道子
5.	同	皆瀬小	阿部裕子
6.	同	皆瀬中	後藤祐子
7.	民生委員会	児童民生委員	小南一郎
8.	教育委員会	係長（学校教育）	佐藤 宏
9.	同	主事（青少年健全育成）	斉藤正幸
10.	保育所	所長	今野文子
11.	同	保母	佐藤友子
12.	担当課	福祉保健課長	小南啓一
13.	同	主査（福祉係・保育所）	小南綾子
14.	同	主事（福祉係）	阿部晴美
15.	同	主事（保健指導係）	高橋 守
16.	同	保健婦（同）	東海林良子
17.	同	保健婦（同）	高橋千賀子
18.	同	栄養士（同）	今野勝子

市町村母子保健計画策定プロセスに関する調査票

市町村名 (秋田県皆瀬村)

記載担当者名 (岩手県保健福祉部保健衛生課 小池創一)

	市町村 市町村行政内部の作業	住民参加	保健所の関与
I 事例の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・人口3269人(H9)岩手、宮城両県との県境の山村で91%が山林原野 ・栗駒国定公園の麓の村。温泉などの観光地で年間23万8千人の観光客 ・高齢化率24.2% (H9)、年少人口割合15.3% (H7) ・村内の医療機関はS62年設立の村立診療所のみ ・中核病院、各科開業医は18kmの距離にある湯沢市に ・H2に村立診療所2階部分に保健センター機能を持たせ、保健衛生と福祉の一部(生活保護等)を移転、村の対人サービスの総合窓口機能を持たせる ・策定当時の課長は老人保健福祉計画策定当時の課長 ・センターの相談室は養護教諭の連絡会に普段から利用 ・毎月1回以上の高齢者サービス調整チーム定例会議実施 ・保健推進計画書として、予算入りの詳細な計画書がある ・保健指導係は、係長を課長が兼任する。保健婦2名、栄養士1名、事務2名の5名体制。課長以上は約500m離れた村本庁舎に 	<p>結核予防会婦人会、健康づくり推進員などは、興味のある企画には参加するがなかなか乗ってこない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所長主催の管内保健婦研修会が年3回開催されており情報伝達をうけて ・毎年、年度計画策定前に保健所の担当と村の情報交換、事業の検討会が開催されていた
II 計画策定の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・保健婦2名が岐阜県谷汲村、本巣町へ視察研修 (H8.7) ・係内で計画策定手順を検討し、次に課長、課全体で検討 ・策定スケジュール作成、アンケート原案策定 ・課内会議、策定委員の選定、実務レベル中心の委員会を設置 ・村長、助役へ趣旨説明 (H8.9) ・村職員全員の連絡会である職員会議で趣旨説明、各課へ協力依頼 (H8.10) ・高齢者サービス調整チームで計画策定趣旨説明 ・民生児童委員定例会で趣旨説明 (H8.10) ・助役の発案で、アンケートを郵送回収としてアンケート実施 	<p>子育て支援事業参加者と「話す会」を2回実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所担当より管内保健婦に地域保健権限移譲の説明会 (H6.12) ・保健所と村担当でH8年度の母子保健事業の協力支援と今後の課題についての会議 (H8.2) ・計画策定に関して、人口動態、3歳児検診データなどを ・保健所主催の事務移譲研修会(H8.11) ・策定委員の構成について保健所と打ち合わせ
◆ その他、計画策定のための環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・係内で業務調整を行う。 ・残業はほぼ100% ・表紙印刷と製本のみ業者委託し、既配予算対応、不足分は補正予算で対応 		
III 地域の実態、住民ニーズの把握	<ul style="list-style-type: none"> ・統計情報収集は保健婦、アンケートは栄養士、事務職が主担当 ・総務課、税務課、住民課よりデータをえる ・アンケートからは、未満児保育や公園増設、保育所無料化といった陳情型が多かった ・老人保健福祉計画策定時の技法や体験は参考になった ・アンケート調査は自由記載をすべてをふくめて村長がすべてに目を通して 	<p>・すすくプランを話す会に個別に意見をもとめる(2回)</p>	<p>各種統計情報が時にはfaxで逐一提供</p>
IV 計画(施策)化	<ul style="list-style-type: none"> ・係内で計画策定に必要な資料をそろえる 		<ul style="list-style-type: none"> ・課長補佐(保健婦)が策定委員として会議に2回参加

	<ul style="list-style-type: none"> ・教育、福祉、保健の外部委員を含めた18名の実務レベルの母子保健関係者に策定委員を委嘱し、計画の原案を協議 ・策定スケジュールに従って計画案を策定。主任保健婦と事務が担当 ・人員増は数値目標として望めないことから事業内容の充実を目標とした 		
V 計画の具体化	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業の予算化により専門スタッフ（保母）の導入をはかる ・父親参加型の事業開始 ・中学生の思春期体験学習の定着化 ・健康づくり推進員研修会で母子保健計画を説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・推進員会議で事業への関心が高まった 	平成10年度小規模市町村支援事業として、住民向けの母子保健計画ダイジェスト版作成を予定
VI 全体を通じた事例のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・老人保健福祉計画がいい意味でも悪い意味でも参考になっている ・住民ニーズ調査は村全体としても初めての試みであり、村長の意識が変わった ・自己採点60点。自由につくれたが、村長の挨拶等が入らなかった点、時間に追われて余裕がなかった点、若い人へのアプローチが不足した、住民参加が不足していた点が反省点 ・過疎地の研究などで大学（立教大、大妻女子大学）が調査には入ってきている。このような研究機関に調査策定に支援を得られるようば制度がほしい。（要望事項） ・担当者は視察先等と比較しながら県の関与がずいぶんさまざまだと感じている <p>【調査担当コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小規模村で保健婦が中心となって住民のニーズを探りつつ、村全体を巻き込んで策定した計画。 		

